

子育て応援フェスタ「しまいく」が大盛況

◎子育て応援課 ☎36・7159

9月22日、総合スポーツセンターローズアリーナで、子育て応援フェスタ「しまいく〜ひとりじゃないでね〜」が開催され、約5500人が来場しました。

このイベントは、市と包括連携協定を結ぶウエルシア薬局(株)の協力で、(公財)イオンワンパーセントクラブの出資を受けて、初めて開かれました。

会場に設けられた特設ステージでは、イオンと市のキャラクターによるイベントや、子育て支援講座などが開かれたほか、幼児向け番組で「体操のお兄さん」を14年間務めた、タレ



パネルディスカッションで意見交換する登壇者

ントの小林よしひさ氏が登場しました。「よしお兄さん」の愛称で親しまれる小林さんが、約1時間のスペシャルステージを披露すると、子どもたちは大はしゃぎ。一緒に歌ったり、踊ったりして楽しみました。小林さんはその後、市長ら4人によるパネルディスカッションにも参加。「みんなで子育てをするまちを目指して」をテーマに意見交換しました。

また、子育て支援団体や企業などによる出展ブースや、積み木で遊ぶスペース、「心地よい抱っこおんぶ講座」「親子で楽しく！バランスボールエクササイズ」などのワークショップが行われ、多くの親子連れでにぎわいました。



積み木で遊ぶたくさんのお子さんたち

静岡県消防操法大会で第7分団が準優勝

◎危機管理課 ☎36・7212

9月8日に開催された第37回静岡県消防操法大会で、志太支部代表として出場した島田市消防団第7分団(伊久身地区)が、「ポンプ車操法の部」で準優勝の好成績を収めました。

同大会には、県内10支部の各代表が出場。火を消すまでのスピードや行動の正確さ、チームの規律や士気など、消防の基本となる「消防操法」の技術を競いました。第7分団の6人は、チームワークの良さや日頃の訓練の成果を発揮し、見事に準優勝をつかみました。



消防操法大会で訓練の成果を競う第7分団

博物館で連台越しモニュメントの除幕式を開催

◎博物館課 ☎37・1000

島田市博物館で9月21日、大井川連台越しモニュメント除幕式が開かれ、寄贈者や市長、大井川肇台越し保存会会長らなど約30人が出席しました。

寄贈者で、市内在住の河岸雅俊さんは「川越遺跡があることを、より多くのの人に知ってもらえるようなシンボルになれば嬉しい」とあいさつ。御影石で作られたモニュメントの壁面には、幕末の絵師、歌川国貞による浮世絵「大井川之図」と「箱根八里は馬でも越すが越すに越されぬ大井

川」の歌詞が刻まれています。



モニュメントの除幕を行う関係者

鍋島地区で地元主体デマンド型バスの試行運転を開始

☎生活安心課 ☎36・7144

9月20日に鍋島地区で、住民による住民のための移動手段「ゆめバス」の試行運転が開始されました。

同地区でのコミュニティバスの試行線運行は、平成31年3月で終了。高齢者の移動手段確保のため、同町内会が主体となり、デマンド型バスの試行運転を実現しました。

この日は、住民4人がバスに乗り込み、買い物物に出発。バスは、買い物ルートと通院ルートを各1回、週2回運行されます。森田一彦町内会長は「いつでも乗れる」ではなく、「この日なら乗れる」に合わせてもらい、運転ボランティアと利用者が、お互

いを思いやって助け合いたい。皆さんに、安全でときめきのある日々を提供したい」と話しました。



「ゆめバス」に乗り込む鍋島地区の皆さん

川根地区の地域おこし協力隊に大地さんが就任

☎市民協働課 ☎36・7197

9月1日、川根地区の新たな地域おこし協力隊に、大地宣幸さんが就任しました。

自然豊かな川根地区に惹かれたという、仙台市出身の大地さん。「自分から積極的に事業に取り組み、川根に早く溶け込みたい」と意欲を語りました。大地さんは今後、川根地区の情報発信や移住・定住促進、地域活動のサポートなどを行います。



地域おこし協力隊に就任した大地さん

お茶×自転車のシティプロモーション「茶輪子」を実施

☎広報情報課 ☎36・7355

島田市・スルガ銀行サイクリングプロジェクト（株）デイトナ（二輪車用品開発・森町）の3者は、市内の魅力をもSNSやウェブで情報発信する企画「茶輪子」を実施しました。

市内にサイクリングコースを設定し、観光地やお茶に関するグルメ・景色などを紹介する企画は、シティプロモーション「島田市緑茶化計画」の事業として、4月から10月まで計6回実施。輪行バッグに自転車を入れ、大井川鐵道で川根方面に足を伸ばすプランや、鬮まつりや島田大祭に関係したプラン、神社仏閣を巡るプランなど、市民でも気軽に楽しめる



第4弾では自転車を止めて神社仏閣の緑を満喫



大井川鐵道を利用した第1弾



dラボのウェブサイト

全6回の様子は、市ホームページや、スルガ銀行ウェブサイトで「dラボ」で紹介しています。



dラボQR

るコースを設定しました。自転車でのんびり巡れば、普段見慣れた景色の中にも新発見があるほか、車では立ち寄りにくい場所も気軽に散策することが出来ます。